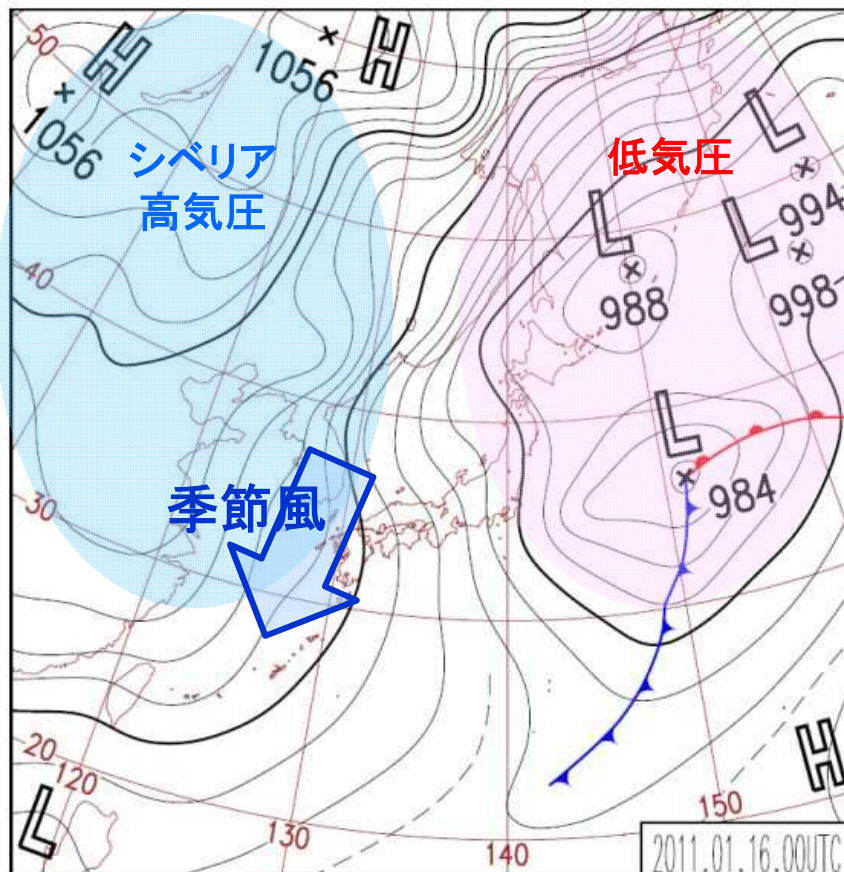


## コラム④：シベリア高気圧と季節風

冬になると、西高東低の気圧配置となります。これは、冬期に典型的に現れる気圧配置であることから、「冬型の気圧配置」とも呼ばれます。沖縄付近に注目すると、シベリア高気圧が東シナ海付近まで張り出します。このようなとき、東シナ海から沖縄付近にかけては強い季節風(北風)が続きます。この季節風は、海面をわたってくる間にあたためられ、水蒸気の補給を受けるため、沖縄の天気は曇りや雨の日が多くなります。

平成23年1月16日9時



気象庁マスコット  
キャラクター  
はれるん

天気図の説明(冬の天気図:平成23年1月16日)

ユーラシア大陸にはシベリア高気圧、日本の東には低気圧があり、「西高東低の冬型の気圧配置」となっています。日本にはシベリア高気圧からの寒気が流れこんできます。那覇では、曇り時々雨の天気となり、最低気温が9.3℃、最高気温が12.3℃と寒い日となりました。

沖縄気象台提供